

町のNEWS わだいの

身近な情報をお寄せください

総務課行政係 ☎74-3132

✉gyousei@town.kanra.lg.jp

農村の歴史と文化を伝承 蕎麦づくり

農村の歴史と文化を伝承するため、(一財)甘楽町都市農村交流協会は研修の一環として秋畑那須地区の「ちいじがき蕎麦の里」で蕎麦づくりに取り組んでいます。

今年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、蕎麦オーナーが参加する「蕎麦づくり入門講座」が中止となったため、予定していた畑の一部を利用し、甘楽ふるさと館職員が9月3日に畑をくわで耕し、蕎麦の種をまきました。



段々畑で心地よい汗を流した職員



土寄せ間近の蕎麦(9月22日撮影)

9月下旬には、発芽し成長した蕎麦を雨や風から守るための土寄せ作業を行いました。

同協会の三木純一理事長は「那須地区の美しい農村景観は、町が誇る貴重な観光ポテンシャルといえます。当協会としてもふるさと甘楽の原風景ともいえる『ちいじがき蕎麦』の保全に一翼を担えればと思っています」と話されました。

蕎麦は11月下旬の収穫を予定しています。

櫻井さんの100歳を慶祝

櫻井つねよさん(大正10年9月22日生まれ・庭谷)が9月22日に100歳の誕生日を迎えられました。櫻井さんは現在、富岡市の特別養護老人ホーム天の間園に入所しています。新型コロナウイルス感染症対策のため、同日に役場で茂原町長が慶祝状と祝金を親族に手渡しました。

櫻井さんは庭谷のお生まれで、3人姉弟の次女として育ち、家を継いで結婚、4人の子どもに恵まれ稲作や養蚕など農業に励んでこられました。自宅で生活していた数年前までは、草むしりや庭木の剪定を行い、好き嫌いなく何でも食べて過ごしていたそうです。

この日は、施設で百寿のお祝い会が開かれ、入所者や職員、リモートで参加した親族から祝福されました。



天の間園にて

瑞宝双光章を受章 井上さん

2021年春の叙勲受章者が4月29日付けで発表され、井上伸栄さん（上野）が更生保護功労で瑞宝双光章を受章しました。

新型コロナウイルス感染症の影響により、延期されていた伝達式は中止となり、8月下旬に勲記と勲章が届けられました。

井上さんは保護司として26年にわたり、犯罪や非行に陥った人の更生を支援し、富岡甘楽保護区保護司会の組織運営にも携わるなど、多大な貢献をされました。

井上さんは「受章は身に余る光栄です。『罪を憎んで人を憎まず』を心に対処してきました。今後も犯罪や非行のない安全で安心な社会のために役に立てればと思います」と話されました。



生涯スポーツの振興に貢献

群馬県の生涯スポーツ功労者と生涯スポーツ優良団体の表彰で町から1個人と1団体が受賞しました。

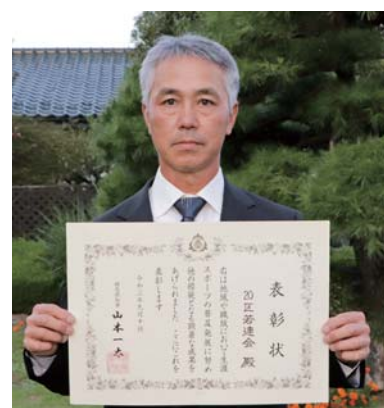
これは地域や職場において、地道な活動を継続し、生涯スポーツの健全な普及や発展に貢献した個人、団体を県知事が表彰するものです。

なお、表彰式は新型コロナウイルス感染症の影響により中止となりました。



生涯スポーツ功労者
丸澤弘子 さん(善慶寺)

体育協会役員として大会運営に携わり、競技役員として長年にわたり尽力され、社会体育の普及と発展に貢献されました。また、バレーボール指導者としても熱心に指導され、現在も選手の育成にあたっています。



生涯スポーツ優良団体
20区若連会

第20-1区、第20-2区の区民を中心にチームを構成し、長年にわたり軟式野球の普及に貢献されました。また、自主的なグラウンド整備などを行い、社会活動にも取り組み地域スポーツを盛り上げています。

地域スポーツ活動の促進に貢献

群馬県スポーツ推進委員協議会のスポーツ推進委員表彰で田村峰嗣さん（秋畑・写真左）が20年表彰、野口昌和さん（小幡・写真右）が10年表彰を受賞しました。

これは、県スポーツ推進委員として長年地域住民の体育・スポーツ活動の振興に貢献した人が表彰されるものです。

なお、表彰式は新型コロナウイルス感染症の影響により中止となりました。

